

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

「美し国の家」

グループの名称

「美し国の家」普及促進協議会

直近採択グループ番号

04-0520-0485

(グループ代表者)

代表者名

坂 英哉

代表者印

代表者所属先

三栄林産株式会社

代表者所在地

三重県亀山市加太中在家8032-1

代表者電話番号

0595-98-0114

(グループ事務局)

事務局事業者名

旭建材株式会社

事務局担当者名

市川 実良

印

事務局郵便番号

514-0816

事務局所在地

三重県津市高茶屋小森上野町2793-8

事務局電話番号

059-234-3301

事務局FAX

059-234-4646

事務局担当者E-mail

ichikawa-m@asahikenzai.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	「美しい家」
2. グループの名称(必須)	「美しい家」普及促進協議会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0520-0485
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	三重県、愛知県、岐阜県、滋賀県、奈良県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	坂 英哉
7. グループ代表者の所属先(必須)	三栄林産株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	三重県亀山市加太中在家8032-1
9. グループ代表者電話番号(必須)	0595-98-0114
10. グループ事務局事業者名(必須)	旭建材株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	市川 実良
12. グループ事務局郵便番号(必須)	514-0816
13. グループ事務局所在地(必須)	三重県津市高茶屋小森上野町2793-8
14. グループ事務局電話番号(必須)	059-234-3301
15. グループ事務局FAX番号(必須)	059-234-4646
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	ichikawa-m@asahikenzai.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	11	原木供給事業者が海外であるため一部事業者の登録ができない
II. 製材・集成材製造・合板製造	15	製材・集成材製造事業者が海外であるため一部事業者の登録ができない
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	4	
V. 設計	7	
VI. 施工	33	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		三重県	「三重の木」認証制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		26	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	26	戸		
			上記の内、三世同居加算の申請が確定(上限30万円)	7	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		15	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	15	戸		
			上記の内、三世同居加算の申請が未確定(上限30万円)	5	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		15	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	15	戸		
			上記の内、三世同居加算の申請が確定(上限30万円)	4	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		12	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	12	戸		
			上記の内、三世同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		16	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	16	戸		
			上記の内、三世同居加算の申請が確定(上限30万円)	4	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		12	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	12	戸		
			上記の内、三世同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		12	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	12	戸		
			上記の内、三世同居加算の申請が確定(上限30万円)	3	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		8	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	8	戸		
			上記の内、三世同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		21	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	21	戸			
		上記の内、三世同居加算の申請が確定(上限30万円)	6	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		18	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	18	戸			
		上記の内、三世同居加算の申請が未確定(上限30万円)	4	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	1棟				
			126㎡				
		申請が未確定	7棟				
			913㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	契約済みで申請が確定であり、着工予定日の早い順、且つBELS工務店を優先して配分する。希望棟数が配分を上回った場合は抽選とする。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	10戸	交付申請戸数	9戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	9戸
	補正予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	補正予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「美し国の家」	(地域型住宅供給対象地域) 三重県、愛知県、岐阜県、滋賀県、奈良県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 「美し国の家」普及促進協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0520-0485	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
① 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○東南海地震(南海トラフ地震)への備えを重視し、耐震等級2相当にする。(非住宅は除く) ○風通しや日射のコントロールを重視し「自然と共存できる省エネルギーな家づくり」を目指すため ・主たる居室は南北あるいは東西の通風を確保する。 ・西面に日射遮蔽対策をほどこす。 (平面図・立面図に通風・日射遮蔽対策を記入する)(非住宅は除く)	◎
② 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○東南海地震など自然災害の対応を考え ・間取りの中に「防災/バックの設置位置」や「水の備蓄位置」を決める。 (お施主様と協議の上で設置場所を決め、平面図に記入する)(非住宅は除く)	◎
③ 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○変化していく家族構成に対応できるよう、可変間仕切りの箇所を必ず1カ所設ける。 (平面図に記入する)(非住宅は除く) ○地域の景観、また安全性も考え、建築中は道路面にガードフェンスを設置する。	◎
④ ①～③の背景	・東南海地震(南海トラフ地震)の発生、大型台風の襲来など、自然災害への備えが必要な地域である。 ・温暖で自然が豊かな地域であり、また伊勢神宮を代表に歴史と文化がある地域。 ・定住率の高い地域であり、家族が長くすむ地域。	◎
⑤ その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・「家守り」である地元施工業者による安全安心な地域型住宅を三重県内に浸透する目標を構成員で共有する。 ・三重県は森林林業県でもあり、できる限り県産材である「三重の木」認証制度の木材を推奨する。 ・住宅と健康の関係性に注目が集まってきている。当グループは、健康長寿社会をめざし行政や学識と連携して「三重健康住宅」を進めている「みえ健康住宅産業振興フォーラム」への参加を推奨する。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材の内「三重の木」認証制度及び合法木材証明制度(国内)に関しては、JAS等の品質基準による高品質な木材とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: モデルプランを元に、基本仕様を作成し構成員施工業者が活用する。それぞれの施工事業者のオリジナリティも重視する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 長期優良住宅並びに認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅・ゼロエネ住宅の基本仕様を設定し、ご提案用カタログの作成および活用を行う。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が中心となり、コスト面が優位となるよう建材・資材メーカーへのグループ共同購入に向かう。特に高度省エネ商品の調達共同化を目指す。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ会合等への資材メーカー参加を推進し、協議の場を持つ。また「美し国の家」共同購入用の書式を作成し、統一した発注及び納品を行う。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 役員・事務局並びに各業種の代表者による、検討委員会を設置し生産の合理化に向け検討をする。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・モデルプランの作成と積算、及び構成員への周知。 ・コンセプトカタログ作成。 ・資材メーカーとの連絡窓口並びに共同購入書類作成、運用。 ・会合及び検討会の企画運営。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者と設計が中心となり、グループの施工基準策定に向かう。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工事完了後、引き渡し前にお施主様と共に見積もり内容と現場の照合をする。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積もりの表現はお施主様が理解できるように注意し、業界用語は丁寧に説明をする。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: BELS取得を推奨し、グループが供給する地域型住宅の性能の見える化を促進し、地域工務店の信頼性向上につなげる。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○グループのホームページを活用して、地域の地元工務店の活動を紹介する。また住宅の最新情報や住まい方への提案も行っていく。 ○ホームページ上に構成員専用コーナーを設置し、情報の共有を進める。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「 <b>美し国の家</b> 」	(地域型住宅供給対象地域) <b>三重県、愛知県、岐阜県、滋賀県、奈良県</b>
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「 <b>美し国の家</b> 」普及促進協議会	(結成年) <b>2012 年</b>
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	<b>04-0520-0485</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴に関して第三者機関を活用し、設計図書等の蓄積をする。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループとして、いえかるで正会員である第三者機関「プロバティオン」を推奨する	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴加入申込書のコピーを事務局に提出する。また第三者機関「プロバティオン」活用の物件は、登録状況を事務局IDで事務局が直接確認する。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴を活用し、あらかじめ決めた点検時期の1ヶ月前に、施主並びに施工事業者へ点検時期の自動連絡をする仕組みを活用する。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでメンテナンスチェックシートを作成し、施工事業者が活用する。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンスチェックシートのコピーを事務局に提出する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループとして一般向けイベントに年2回程度出展し、住まいのメンテナンス等の提案を行う。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の中に森林所有者もおり、森林見学の体験会を1回以上開催する。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 劣化対策の必要性、また健康面にも配慮し「天然資材のホウ酸防腐防蟻処理」勉強会を2回程度構成員向けに開催。また一般向け相談会をイベント参加時中心に2回程度開催する。	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会長と事務局が中心となり、施工・設計構成員有志により維持管理検討を行う。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅インスペクションを推奨し、事務局より資格試験等の情報を配信する。	◎
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の倒産廃業が起こった場合、事務局が中心となり構成員の中から代替履行事業者の斡旋を行う。また、住宅履歴をもとに、引き続き「家守り」を継続する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大きな瑕疵が発生した場合、グループ会合等で瑕疵内容勉強会を行う。	○
その他	◎資格試験等・既存住宅流通・空き家対策と言った情報を事務局が発信し、周知する。	◎
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅並びに認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅・ゼロエネ住宅の研修会を年2回程度開催。また、省エネ技術者講習会の受講を促す。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループとして品質管理について検討委員会にて協議する。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 検討委員会にてルール化された内容のチェックシート作成と運用	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループで2020年に地域型住宅全棟長期優良住宅を目指す。また認定低炭素住宅相当50棟、ゼロエネ住宅相当100棟を目指す。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅版BELSの研修会を実施し、BELSの表示標準化を目指す。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原木・製材は県木連を中心に合理化を進め、施工と設計の連携強化で新しい技術習得に向かう。流通は最新情報の発信を行う。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 68 今年度の参加目標人数 15 施工事業者33社の内、9社が未受講であり今年度に全施工事業者受講を目指す。	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 25 今年度の参加目標人数 18 構成員施工事業者に関連する技能者へ、講習会案内を配布する。	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が三重県木造住宅生産体制推進協議会に参画し、講習会への受講促進をはかる。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 防腐防蟻処理また木材劣化対策に関して健康面も考慮して「ホウ酸防腐防蟻」の活用を推奨する。	◎
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「みえ健康住宅産業振興フォーラム」と連携し「三重型健康住宅」の確立に向けて参画する。	◎
その他	◎BELS工務店を推奨する。	◎
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「美し国の家」	(地域型住宅供給対象地域) 三重県、愛知県、岐阜県、滋賀県、奈良県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「美し国の家」普及促進協議会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0520-0485	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>○地域材を「三重の木」認証制度または合法木材証明制度(国内・国外)の木材とする。 ○主要構造材には当グループの地域材を80%以上使用する。 ○主要構造材には「三重の木」認証制度または国内産の合法木材証明制度による木材を10%以上、国外産の合法木材証明制度による木材を90%未満の割合で使用使用するものとする。 (ただし、原木・製材事業者の内、海外に所在する事業者は記載されていない)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満    <input type="checkbox"/> 50%以上    <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>主要構造材    土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                   柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材    間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している 造作材    枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している 板材    壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>地域材供給の流れ 「三重の木」認証材</b></p> <p style="text-align: center;"><b>地域材供給の流れ 合法木材</b></p> <p style="text-align: center;">・・・林野庁(平成21年6月)「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に基づき運用</p> </div>	◎
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない    <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、三重県木材組合連合会からの情報入手、大手木材流通業者との月1回程度の情報交換を行い、構成員に情報発信する。</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない    <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記木材流通業者との情報交換にて、木材相場並びに需要予想・相場予想を把握し、事務局より構成員に情報発信する。</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 3ヶ月に1回程度、施工事業者から案件情報をいただき、需給逼迫の可能性が有る場合、事務局より構成員に情報発信する。</p>	◎
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: イベント等において、三重型健康住宅の普及啓発と、地震対策の啓発活動を行う。</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 伊勢神宮をはじめ歴史と伝統がある地域においては、街並みなどに配慮をする。</p> <p>④ 和の住まいの要素を取り入れた取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	◎
e	<p>※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください</p> <p>○木製品・建具・左官職人などと連携をとり、地域型住宅への取り組みを提案していく。</p>	○

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	該当ありません	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	九州で生産される原木及び製材品を、グループで供給・活用し地域型住宅に採用する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「 <b>美し国の家</b> 」	(地域型住宅供給対象地域) 三重県、愛知県、岐阜県、滋賀県、奈良県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「 <b>美し国の家</b> 」普及促進協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0520-0485	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

**「美し国の家」の基本的な特徴**

三重県を中心に高性能な地域型住宅を地元施工業者によって供給する。

- ・地域材を「三重の木」認証制度あるいは合法木材証明制度(国内・国外)とし、JAS等の品質基準による高品質な地域材を活用する。
- ・東南海地震(南海トラフ地震)への対応の為、耐震等級2相当とし、防災バック・水の備蓄位置をお施主様協議の上、決めていく。
- ・温暖な地域であり、通風と西面日射遮蔽を考慮した建物とする。



**【認定低炭素住宅】**

未経験施工業者が多く、グループ標準仕様をベースに施工業者ごとの仕様組立をグループとして進める。特に断熱材の高性能化及び開口部の断熱性能のアップに力を入れる。

**【性能向上計画認定住宅】**

認定低炭素住宅と同様に、グループ標準仕様をベースに施工業者ごとの仕様組立をグループとして進める。特に断熱材の高性能化及び開口部の断熱性能のアップに力を入れる。

特

**【ゼロ・エネルギー住宅】**

平成28年省エネ基準一次エネルギー消費量算定方式に準じた評価方法を採用する。  
BELS認証による評価を採用することで、施工事業者・設計を中心に技術力向上にもつなげる。  
5地域:R0値25.8% R値106.9% 6地域:R0値26.7% R値102.9% を基準とする。  
未経験施工業者も多く、グループモデルプランの標準仕様をベースに、断熱材の高性能化及び開口部の断熱性能のアップに力を入れる。

**【優良建築物】**

建築物の木質化が三重県内でも進んできており、地域の工務店が受注する物件が増えてきた。グリーン化事業を通し、低炭素の優良建築物の認定基準を満たす。